

2021 年度事業者防災訓練 訓練課題対応資料

1. 原子力防災訓練で確認された課題について

2022 年 1 月 11 日に実施した原子力防災訓練において、いくつかの課題を確認した。

確認した課題について下記のカテゴリーに分類し、それぞれに対する原因分析、対策案を「2021 年度訓練課題」下表にまとめた。

(カテゴリー分類)

- (1) 緊急対策本部活動訓練
- (2) ERC 対応訓練

2021 年度訓練課題

分類	項目	① あるべき姿、②問題点／課題、③原因、④対策
緊急対策本部活動訓練	情報共有	① あるべき姿；事故進展に係わる情報は緊急対策本部から現場係員へ漏れなく、かつ遅滞なく共有されるべきである。 ② 問題点／課題；緊急対策本部の各係長から現場要員への情報共有が十分でない場面があった。また着用すべき防護具の種類及び屋内退避などの重要な情報の一斉放送が遅れる場面があった。 ③ 原因；各係長が入手した情報のうち、現場要員へ共有すべき情報の種類等は、全てがマニュアル化されているわけではないため、漏れなく情報共有できるかどうかは係長個人の力量に頼っている。また、多くの係長は現場から入手した情報を対策本部内で発話することや、本部長等からの指示・質問の対応に追われていた。 ④ 対策；事象ごとに各係長が現場要員へ共有すべき情報の種類等を明確にすること及び活動の中で人員が不足している場合は、他係に応援者を依頼することも含めてマニュアルに定める。これらの内容を各係長へ周知・徹底するとともに個別訓練を通して練度を上げる。
ERC 対応訓練	ERC 対応者マニュアルの不備	① あるべき姿；ERC 対応者は「結論を短時間で述べることを基本とする」ことに注意し、また放射線モニタリングについてはタイムリーに、また状況の推移を予想して、オフサイトへの影響を判断できるように収集した情報を組み合わせた説明を行うべきである。 ② 問題点／課題；ERC プラント班からの質問に対して適切に回答していない場面が存在した。また、放射線に関するトレンドグラフを用いた先を見通した説明がタイムリーにできなかった。 ③ 原因；ERC 対応者マニュアルにおける ERC 対応者の注意事項には、「結論を短時間で述べることを基本とする」と定めているが、具体的な回答のノウハウまでは定められていない。また、放射線モニタリングの状況も報告するとの記載はあるが、トレンドグラフ化した放射線情報を使用し、先を見通した説明の実施については記載がない。

		④ 対策；ERC 対応者マニュアルの注意事項に具体的な回答のノウハウとして、質問の種類に応じた回答の要領を追加する。また、放射線モニタリングの状況については、トレンドグラフを用いタイムリーに報告すること及び重要である EAL に到達する予想時刻など、先を見通した説明を行うことを追加する。これらマニュアルに従い、ERC 対応者へ周知・徹底するとともに教育・訓練を行うことで力量の向上を図る。
--	--	--

以上